

ナブテスコ株式会社

2026年12月期第2四半期（中間期） 決算説明会資料

2026年8月5日

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

当社は、2025年7月31日にComer Industries S.p.A.と締結した当社及び連結子会社の油圧機器事業に係る株式譲渡契約に基づき、新たに設立した完全子会社（コムテスコ株式会社）に同年12月31日付で同事業を吸収分割の方法により集約し、コムテスコ株式会社の発行済株式の70%について、2026年1月1日付で譲渡を完了しました。これにより、コムテスコ株式会社は当社の持分法適用会社となりました。また、2025年12月期の実績については、油圧機器事業を非継続事業に分類したことにより、売上高、営業利益、税引前利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、中間利益（当期利益）、親会社の所有者に帰属する中間利益（当期利益）は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しています。

1. 今回のポイント

CEO 木村 和正

2. 連結業績概要および見通し

常務執行役員 企画 経理 情報システム コーポレート・コミュニケーション管掌
碓井 浩

3. 補足資料

1. 今回のポイント

CEO 木村 和正

2026年12月期 中間期

	実績	前年同期比	計画比
売上高	1,674 億円	+17%	+6%
営業利益	158 億円	+72%	+41%
営業利益率	9.5%	+3.1pt	+2.4pt

2026年12月期 通期

	修正計画	前回計画比
売上高	3,440 億円	+ 5%
営業利益	326 億円	+18%
営業利益率	9.5%	+1.0pt

2026年12月期 中間期実績

- CMP、TRS、ACBが好調に推移したことに加え為替効果もあり前年同期比、計画比ともに増収増益
- 2026年12月期中間期の営業利益率9.5%は2021年12月期中間期に次ぐ高水準

2026年12月期 通期計画

【通期業績予想修正の背景】

- CMP 上期好調な業績を反映したことに加え、回復トレンドが当初想定を上回る見込み
- TRS 為替効果及び船用機器の新造船及びMRO向けでの増加を織り込む
- ACB 前回計画並みを維持

CMP: Component Solutions Segment, TRS: Transport Solutions Segment, ACB: Accessibility Solutions Segment, MFR: Manufacturing Solutions Segment

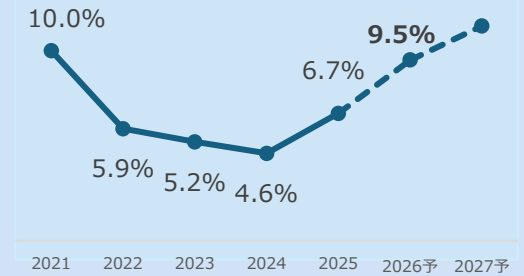
CMPの成長加速

- ・精密減速機の継続的な受注増加
- ・RV miniの顧客への納入開始



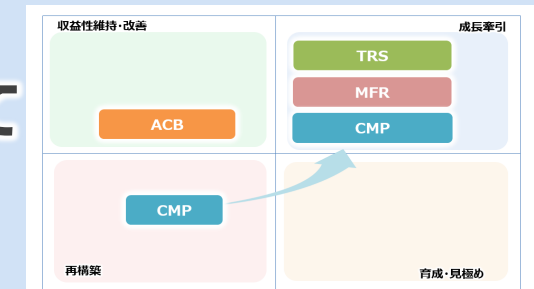
収益性の改善

- ・着実なProject 10の進捗



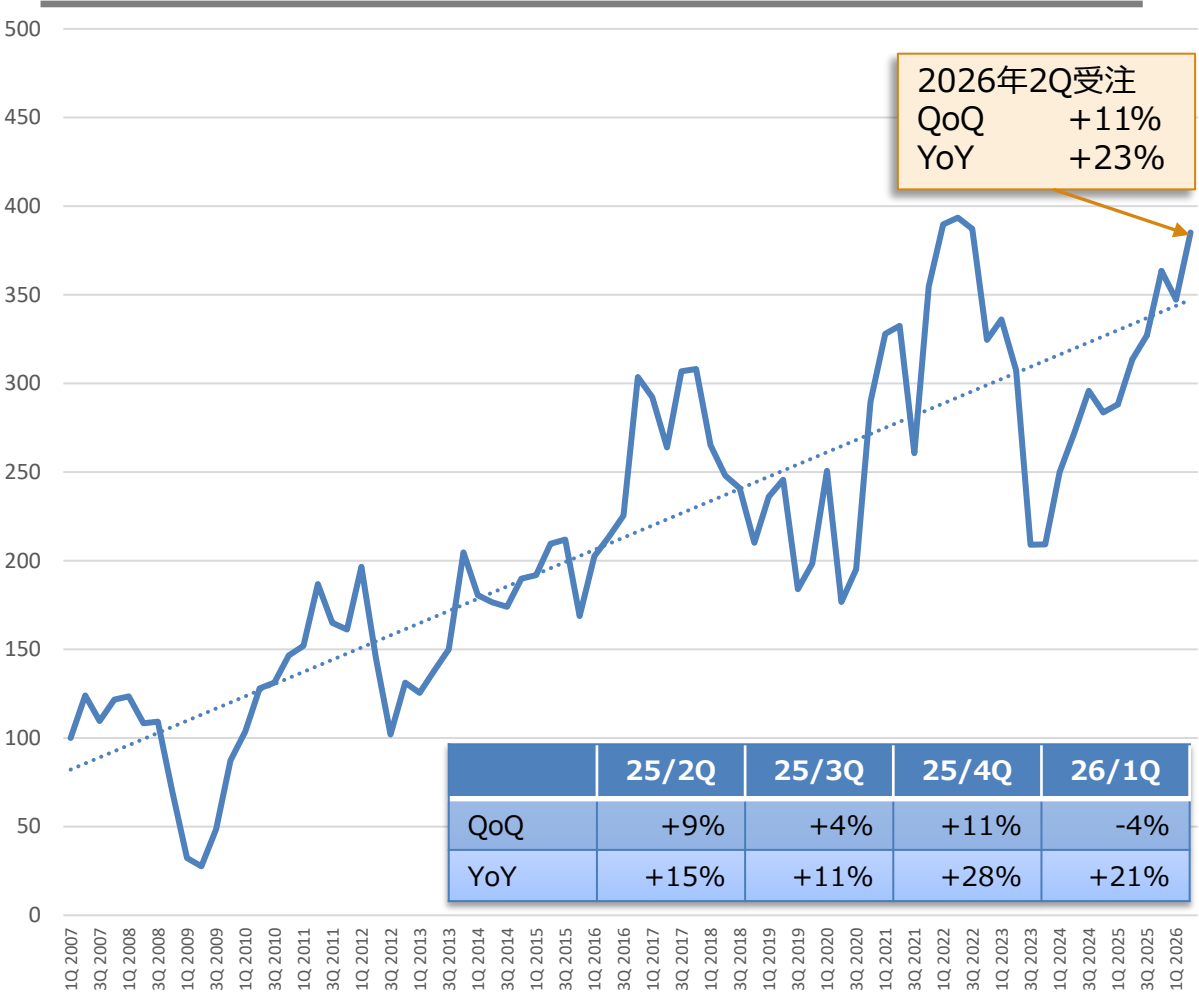
事業ポートフォリオの強化

- ・レジリエントな企業基盤構築に向けて着実に前進



■ 継続的な受注増により工場稼働率も増加したことでOPMも改善（26年中間期OPM 10.6%）

精密減速機 受注推移

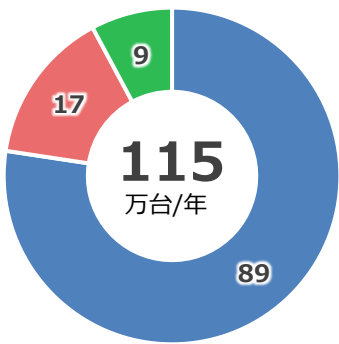


2007年1Q受注を100とした指数

生産能力と稼働率

■ 生産能力

2024/3Q～現時点



- 日本工場（津）
- 中国工場（常州）
- 日本工場（浜松）

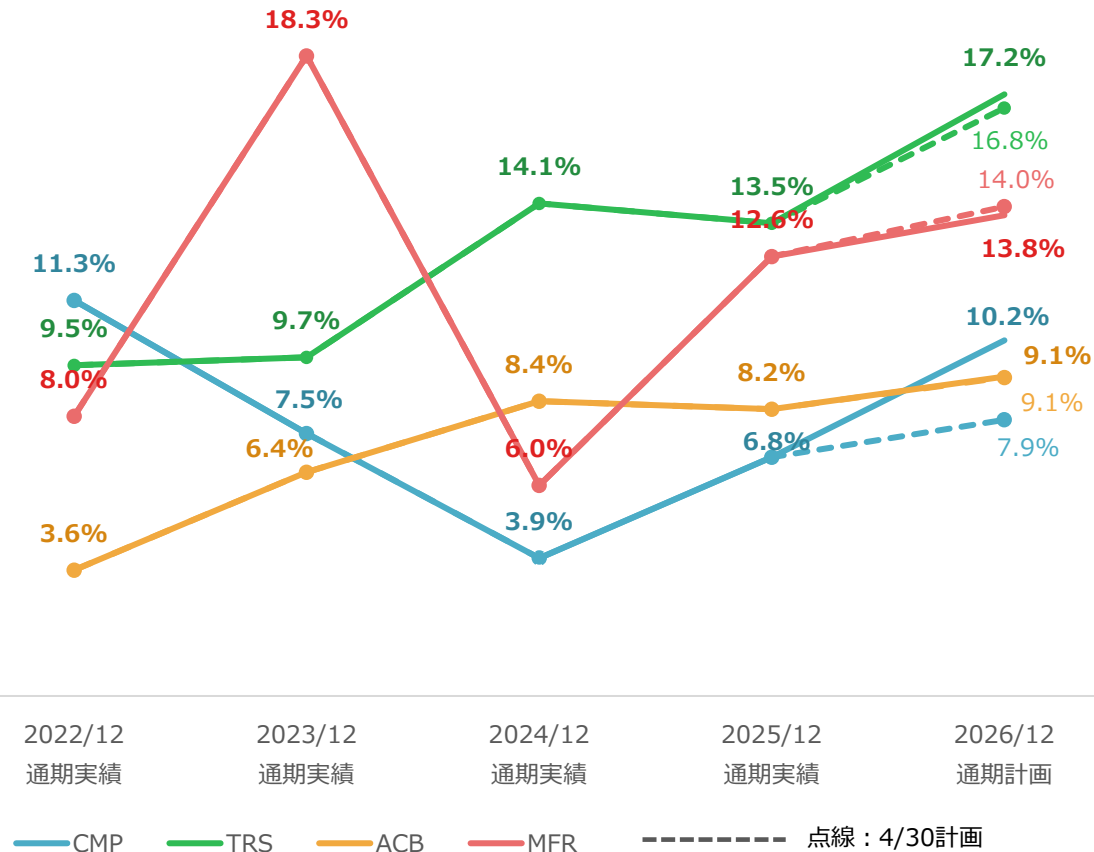
■ 各工場の稼働状況

工場	稼働率				
	25/2Q	25/3Q	25/4Q	26/1Q	26/2Q
津工場（日本）	65%	70%	70%	75%	85%
常州工場（中国）	110%	110%	115%	90%	100%
浜松工場（日本）	徐々に生産数量拡大中				

※上記稼働率は3直20日/月を前提に算出

■ Project 10始動以降、CMPを中心に利益率は着実に改善

セグメント営業利益推移



セグメント	2024実績 (油圧機器除く)	2025実績	2026修正計画 (7/31計画)
CMP	3.9%	6.8%	10.2%
TRS	14.1%	13.5%	17.2%
ACB	8.4%	8.2%	9.1%
MFR	6.0%	12.6%	13.8%
全社又は消去 (億円) 売上高に対する比率	-123 4.4%	-96 3.1%	-98 2.8%

更なる利益率改善に向けた施策

CMPセグメント

【対策】

- ・ 半導体製造装置や物流分野等成長分野向けの拡販
- ・ 調達費低減を含めた生産性の向上

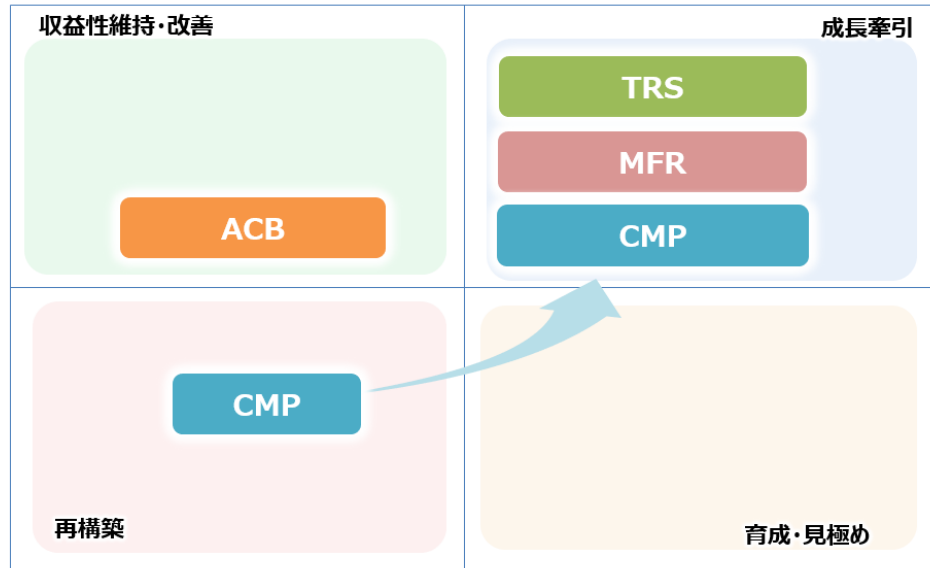
ACBセグメント

【対策】

- ・ 海外PDビジネスの見直し
- ・ MROの強化

*2024年以降、油圧機器事業を含まず算出しております。

■ MROを基盤とした安定収益の確保と成長市場での売上・利益拡大を実現するポートフォリオの構築

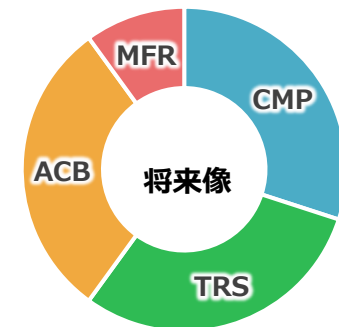
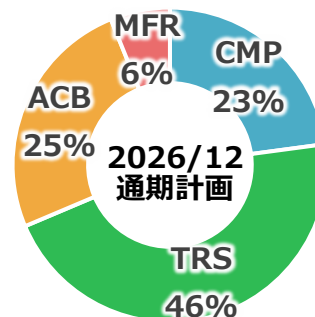
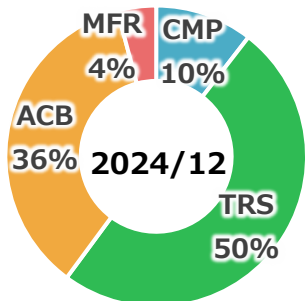


2026年のアクション：既存ポートフォリオの強化（集中）

- ・ **CMP**：着実な受注獲得による売上拡大及び収益性改善
 - ・ RV miniの投入でのラインアップ拡大によるフィジカルAI需要の取り込み
 - ・ 一般産業向け需要の取り込み
- ・ **TRS**：戦略的な新規案件の獲得によるMROを含めた規模拡大
 - ・ 航空機器での開発投資の前倒しや製品ラインアップ拡張
 - ・ 船用機器の生産能力増強・開発投資増加による成長取り込み
- ・ **ACB**：キャッシュカウとしての基盤強化
 - ・ デジタル技術を活用したMROビジネス強化

■ 目指すもの

【利益構造の転換】 利益のリバランスを図る



2. 連結業績概要および見通し

常務執行役員 企画 経理 情報システム コーポレート・コミュニケーション管掌
碓井 浩

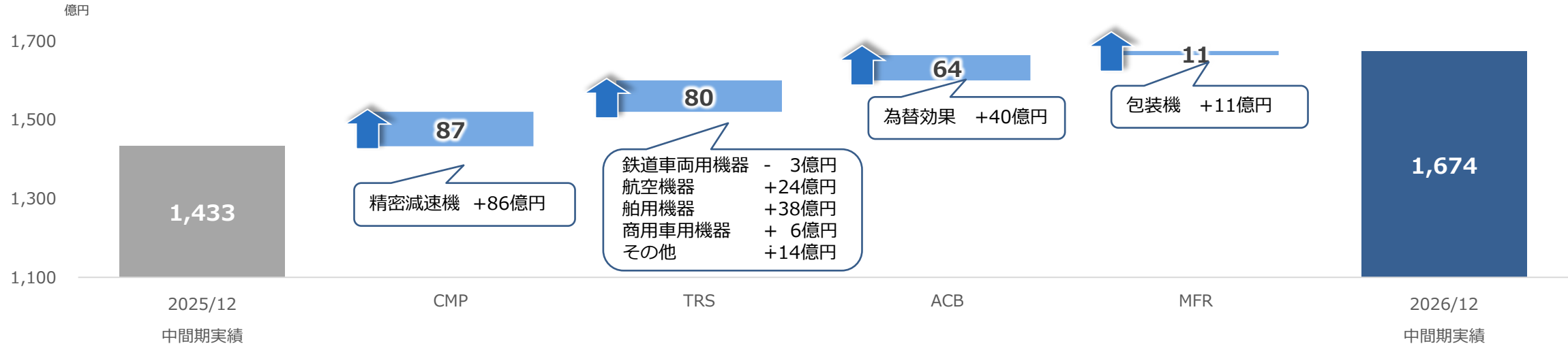
■ 前年同期比で売上とすべての利益が増加し、営業利益率は3.0pt改善

(単位：億円)	2025/12	2026/12	前年同期比	前年同期比
	中間期実績	中間期実績	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B-A)	(B/A-1)
売上高	1,433	1,674	241	17%
営業利益	92	158	67	72%
(営業利益率)	6.4%	9.5%	3.0pt	-
金融損益	-6	1	7	-
持分法投資利益	-0	32	32	-
税引前中間利益	85	191	106	124%
親会社所有者に帰属する中間利益	65	124	59	91%
一株当たり当期利益（円）	54.20	105.94		
中間配当（円）	40	41		

2026/12	計画比	計画比
中間期計画	増減額	増減率
(C)	(B-C)	(B/C-1)
1,574	100	6%
112	46	41%
7.1%	2.4pt	-
-	-	-
-	-	-
120	71	59%
63	61	97%
53.76		
41		

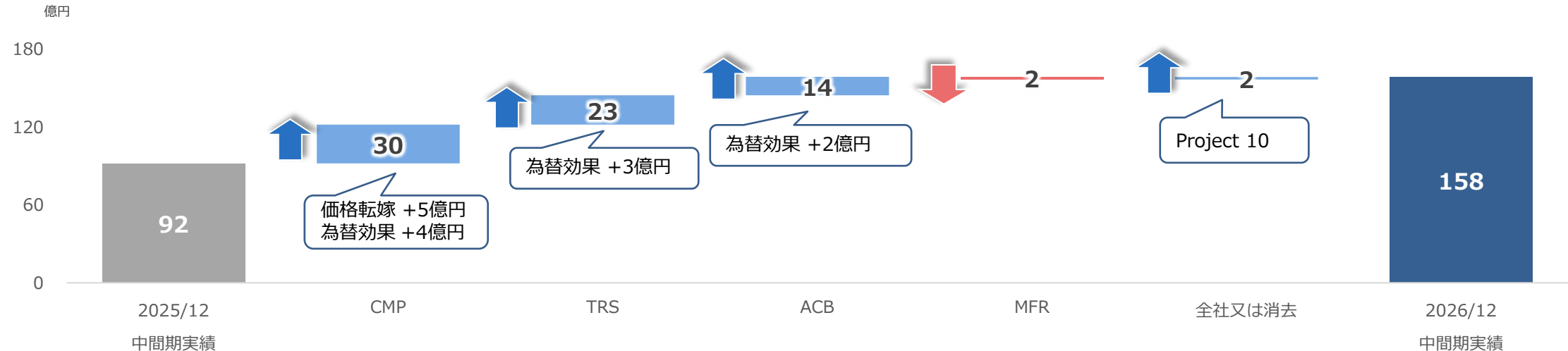
売上高

■ 全セグメントで需要環境が好調であり、増収となった



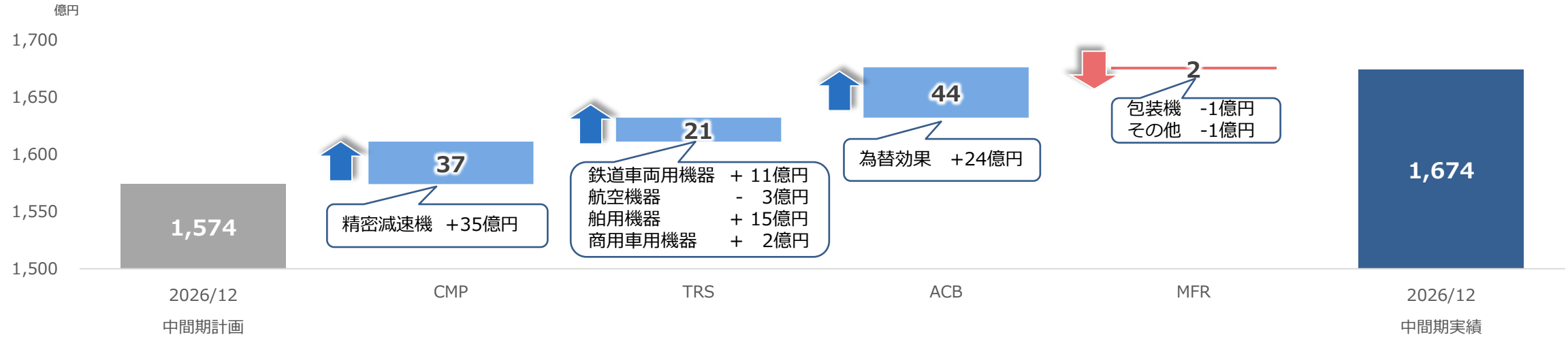
営業利益

■ 増収による増益に加え、Project 10が順調に進捗し増益



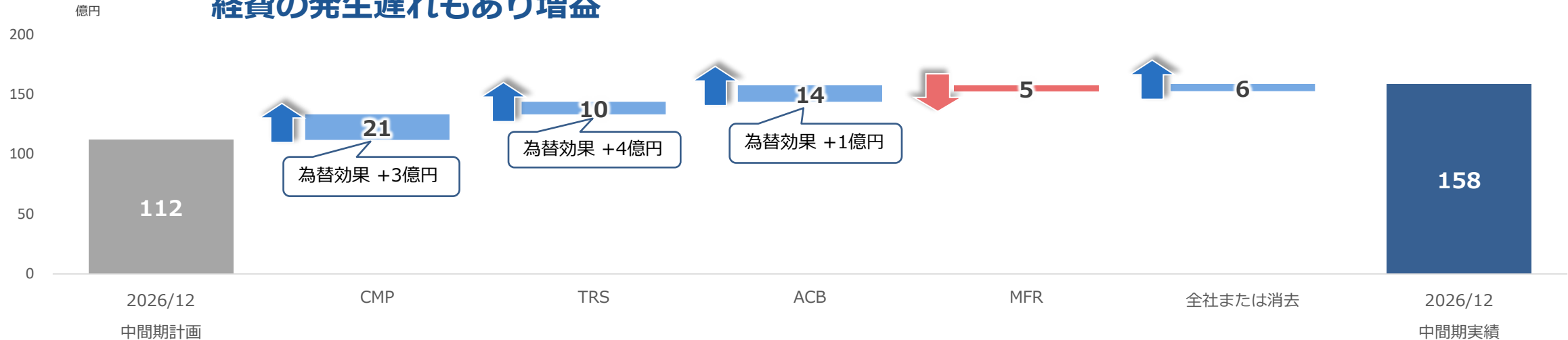
売上高

■ CMP、TRS、ACBの需要が堅調であったことに加え為替効果（58億円）により計画比増収



営業利益

■ 増収による増益に加え、ACBセグメントでは海外建物用ドアの収益改善、為替効果、経費の発生遅れもあり増益



■コムテスコ社（油圧機器事業）の株式譲渡により、同事業に関連する項目が減少

(単位：億円)	2025/12 期末 2025年12月31日	2026/12 2Q（中間期）末 2026年6月30日	差異
資産	4,640	4,559	-81
（現預金等）	733	996	262
（売上債権）	786	691	-96
（棚卸資産）	528	579	50
（売却目的で保有する資産）	437	—	-437
（非流動資産）	2,076	2,184	108
負債	1,752	1,595	-156
（借入金）	450	434	-16
（売却目的で保有する資産に直接関連する負債）	123	—	-123
資本	2,888	2,964	75
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	19	—	-19
（非支配持分）	169	119	-50
親会社の所有者に帰属する持分	2,719	2,845	126
親会社所有者帰属持分比率：	58.6%	62.4%	3.8pt

■ 着実に利益を積み上げ増収増益の見通し

(単位：億円)	2026/12 通期計画(4/30) (A)	2026/12 通期計画(7/31) (B)	計画比 増減額 (B-A)	計画比 増減率 (B/A-1)
売上高	3,270	3,440	170	5%
営業利益	277	326	49	18%
(営業利益率)	8.5%	9.5%	1.0pt	-
税引前利益	286	363	77	27%
親会社所有者に帰属する当期利益	186	241	55	30%
1株当たり当期利益 (円)	158.72	206.20	47.48	30%

ROIC	5.8%	6.8%
ROE	6.5%	8.9%
1株当たり配当金 (円)	82.00	82.00
DOE	3.6%	3.5%
(配当性向)	54.6%	39.8%

【為替前提】

USD	145.00	154.29
RMB	20.50	22.27
EUR	170.00	179.91
CHF	185.00	195.74

2025/12 通期実績 (C)	前期比 増減額 (B-C)	前期比 増減率 (B/C-1)
3,079	361	12%
207	119	57%
6.7%	2.7pt	-
217	146	68%
157	84	54%
131.56	75	57%

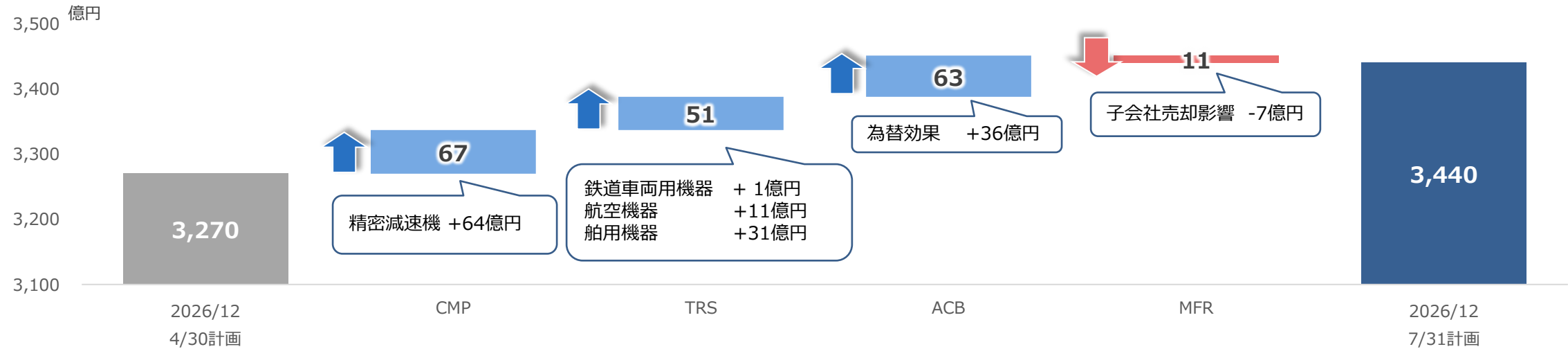
4.4%
5.8%
80.00
3.6%
60.8%

149.78
20.94
169.53
181.13

上記1株当たり当期利益の計算に際しては、2026年7月31日に開示した自己株式取得を反映し計算しています。

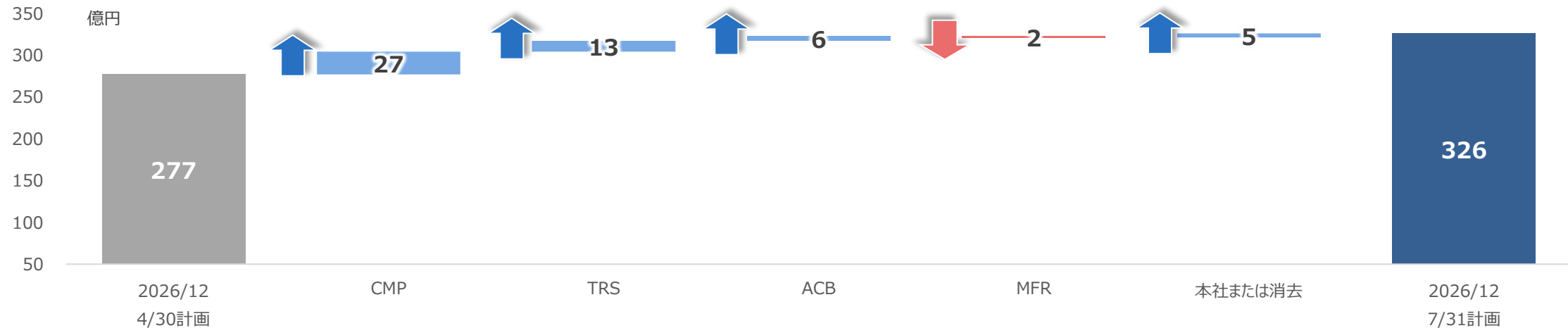
売上高

■ CMP、TRS、ACBの好調な上期売上や為替効果を踏まえ通期計画を上方修正

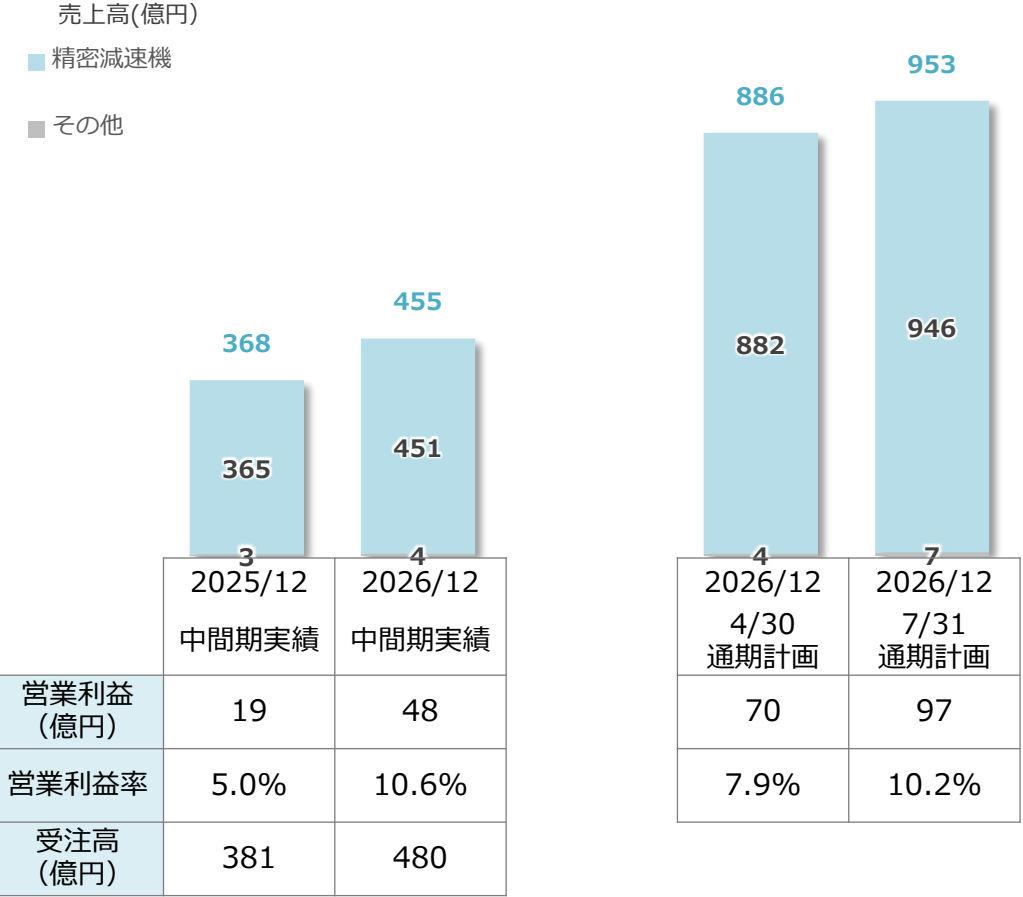


営業利益

■ 上期の好調な実績をうけ、通期計画を上方修正



中間期 YoY 増収 → 増益
通期計画比 増収 → 増益



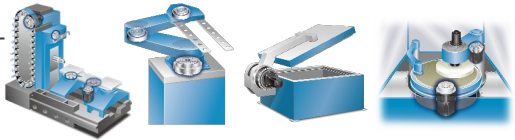
セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
精密減速機	【ロボット向け】 中国・韓国の自動車メーカーで設備投資需要が回復 【ロボット以外】 工作機械、半導体製造装置向けで需要が回復
営業利益	増収による増益と、価格転嫁効果により収益性改善 ただし、一部経費等の発生遅れあり

通期見通し



事業	市場環境
精密減速機	【ロボット向け】 ・日本 安定的な自動化ニーズにより大きな需要環境の変化なし ・中国 中国では新興EVメーカーで設備投資需要堅調 ・北米 一部自動車メーカーで需要回復の動きを見込む ・欧州 引き続き需要の低迷を見込む
	【ロボット以外】 工作機械・半導体製造装置向け ともに需要は堅調

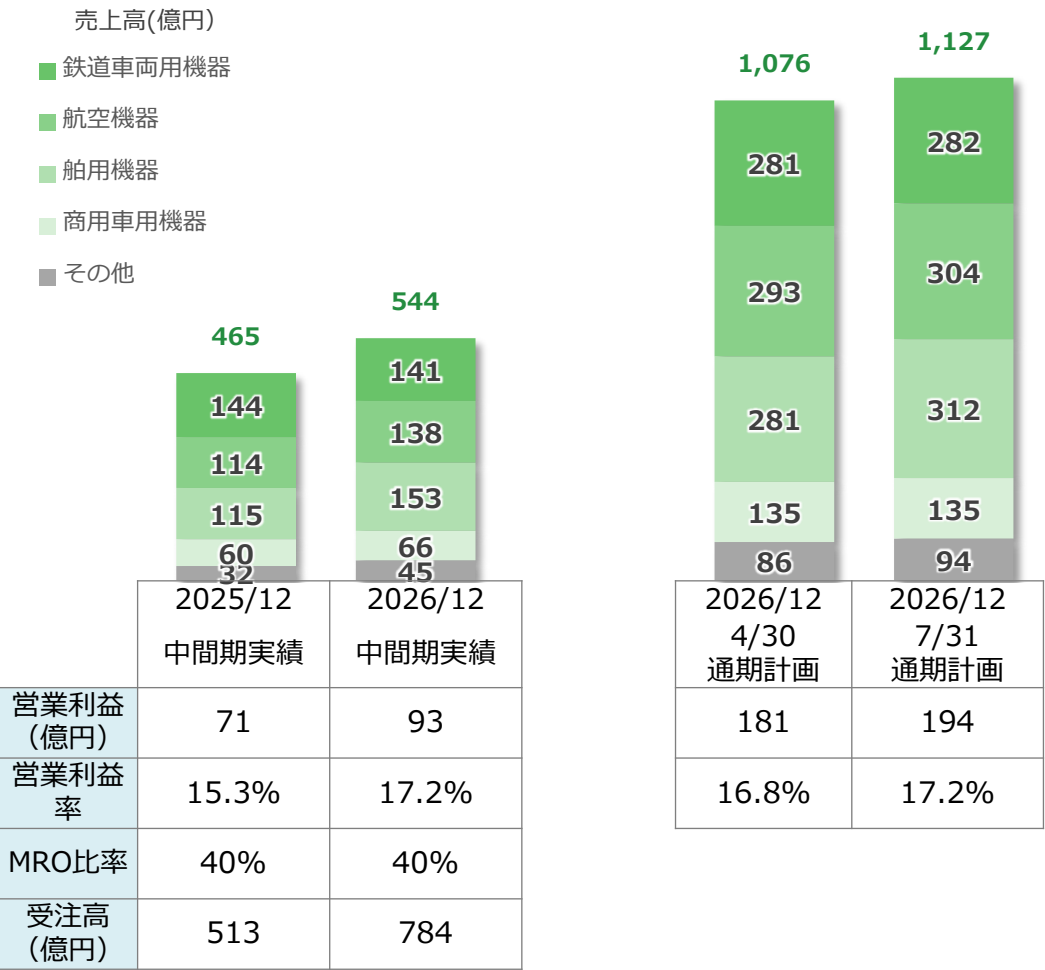


トピックス

RV miniの販売は2026下期から納入開始

中間期 YoY 増収
通期計画比 増収

増益
増益



セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
鉄道車両用機器	国内および中国地下鉄向けは堅調も、欧州子会社売却により微減
航空機器	民間航空機向けでの需要が増加し増収
舶用機器	中国を中心とした新造船向け需要とMRO需要が好調で増収
商用車用機器	国内市場の緩やかな需要回復もあり増収
営業利益	増収により増益
受注高	2 Qの受注トレンド(YoY)：航空機器+177% 舶用機器+29%

通期見通し

事業	市場環境
鉄道車両用機器	国内の新車投資抑制傾向継続
航空機器	【防衛】 好調な需要が継続 【民間】 生産レート増加
舶用機器	新造船向けおよびMROとも好調な需要が継続
商用車用機器	国内堅調、東南アジア市場回復の動きあり

中間期 YoY 増収
通期計画比 増収

➡ 増益
➡ 増益

売上高(億円)

■ 自動ドア

526

590

526

590

2025/12

2026/12

中間期実績

中間期実績

営業利益
(億円)

42

57

営業利益率

8.1%

9.6%

MRO比率

45%

45%

受注高
(億円)

512

610

1,108

1,171

1,108

1,171

2026/12

2026/12

4/30
通期計画7/31
通期計画

101

107

9.1%

9.1%

セグメント業績（前年同期比）

※PD:プラットホームドア

事業	業績
自動ドア	【国内】 新規建物用ドアは需要の端境期となり微減
	【海外】 欧州、北米で建物用ドア需要が回復
PD※	【国内】 プロジェクトが進行し増収
	【海外】 既存案件が進捗し減収
営業利益	増収による増益に加え海外事業の収益性改善

通期見通し

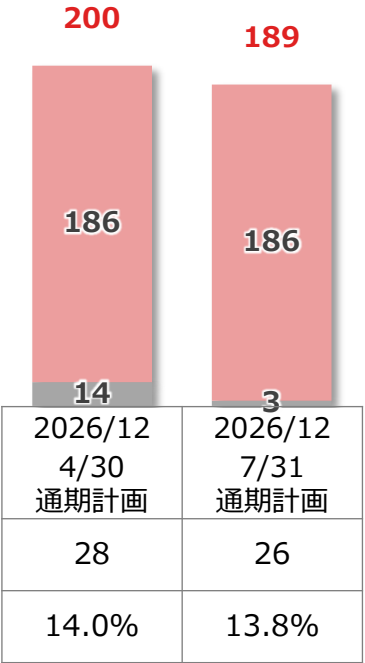
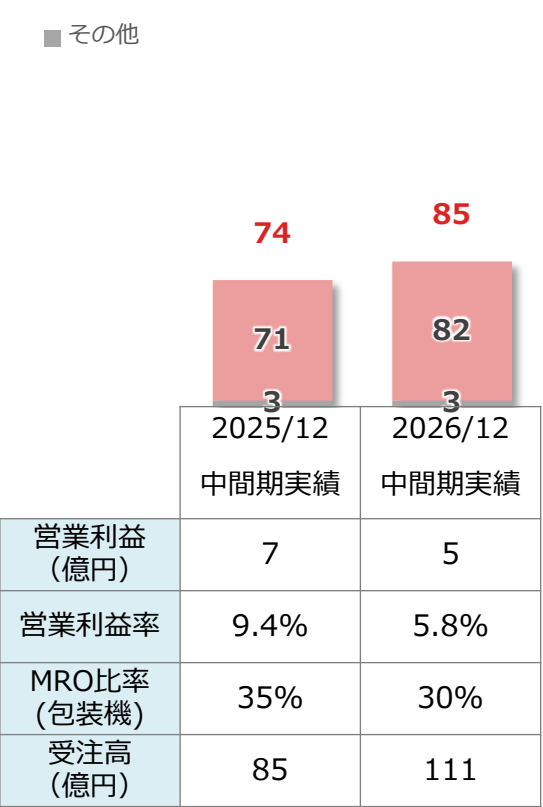


事業	市場環境
自動ドア	【国内】 新規建物用ドアは需要の端境期が継続
	【海外】 欧州、北米市場は想定通り堅調な需要が続く見込み
PD※	【国内】 堅調な需要が継続する見込み
	【海外】 設備工事付きの継続案件として香港、グラスゴーを残すのみ



売上高(億円)

■ 包装機
■ その他



セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
包装機	国内の食品メーカーでの設備更新需要、生産増強の動きがあり増収 海外案件はアジアを中心に減収
営業利益	海外向け主機売上減少により微減益

通期見通し

事業	市場環境
包装機	【国内】 食品メーカーを中心に設備投資は好調が継続
	【海外】 欧州や中国では需要回復の動きあり

トピックス

・ 6/30 CMET社（3Dプリンター事業）をベストオーナーへ事業譲渡

中期経営計画の還元方針

DOE 3.5%を目安とした安定配当および機動的な自社株買い

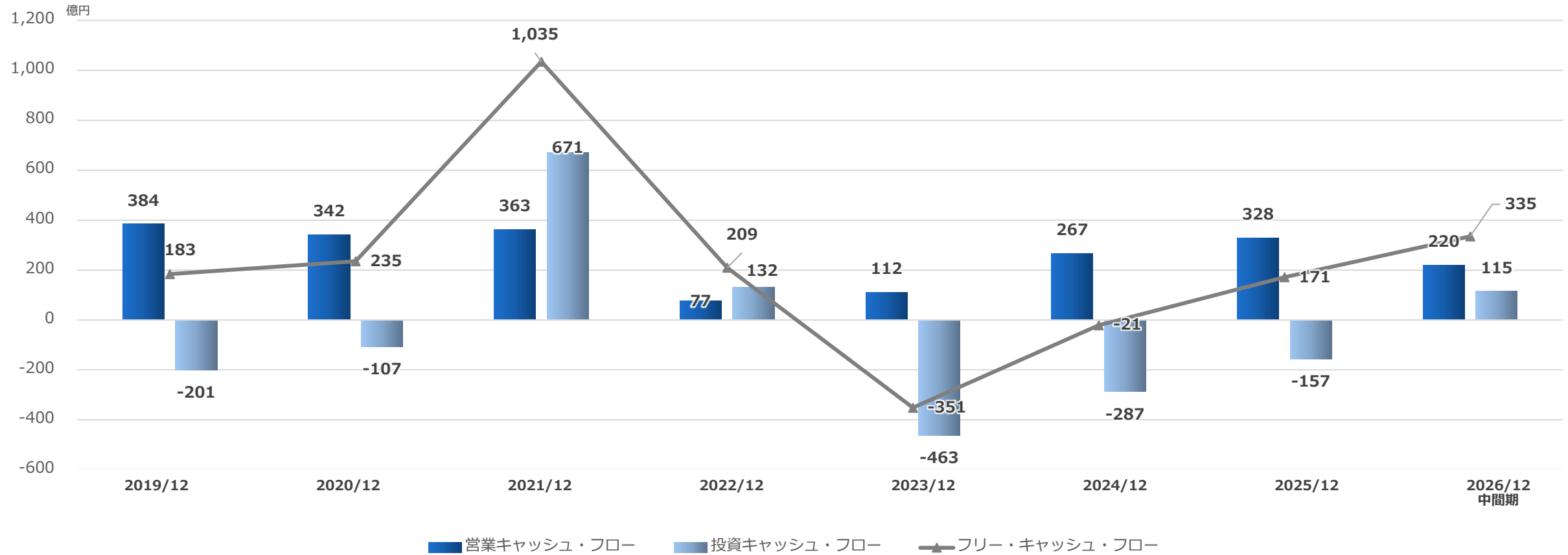
自己株式取得の背景

1. 資本効率の向上（自己資本比率の適正化）
2. 「成長投資」、「財務健全性」、「株主還元」のバランスを取りながら機動的に還元

取得の概要

- 期間 2026年8月3日～2026年11月30日
- 総額 150億円（上限）（2026年12月期通期計画 総還元性向102%）
- 総数 400万株（上限）
- 方法 市場買付け
- 消却予定 2026年12月15日

3. 補足資料

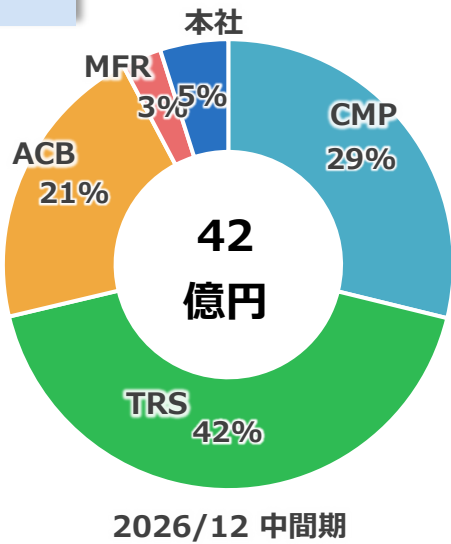
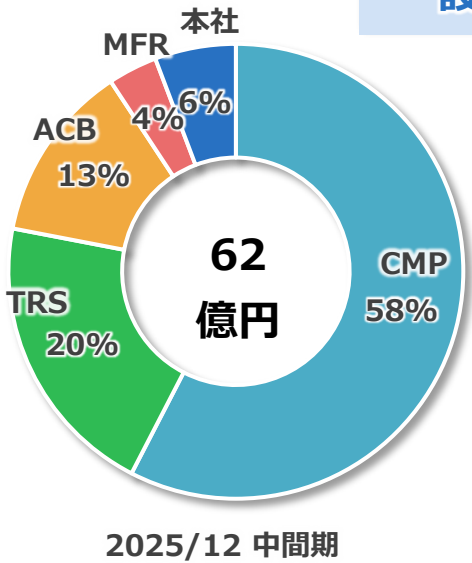


■ 設備投資の増額は主に老朽化設備の更新によるもの

(単位：億円)	2025/12	2026/12	前年同期比
	中間期実績	中間期実績	(B-A)
	(A)	(B)	
設備投資額	62	42	-21
研究開発費	53	62	8
減価償却費	81	86	5

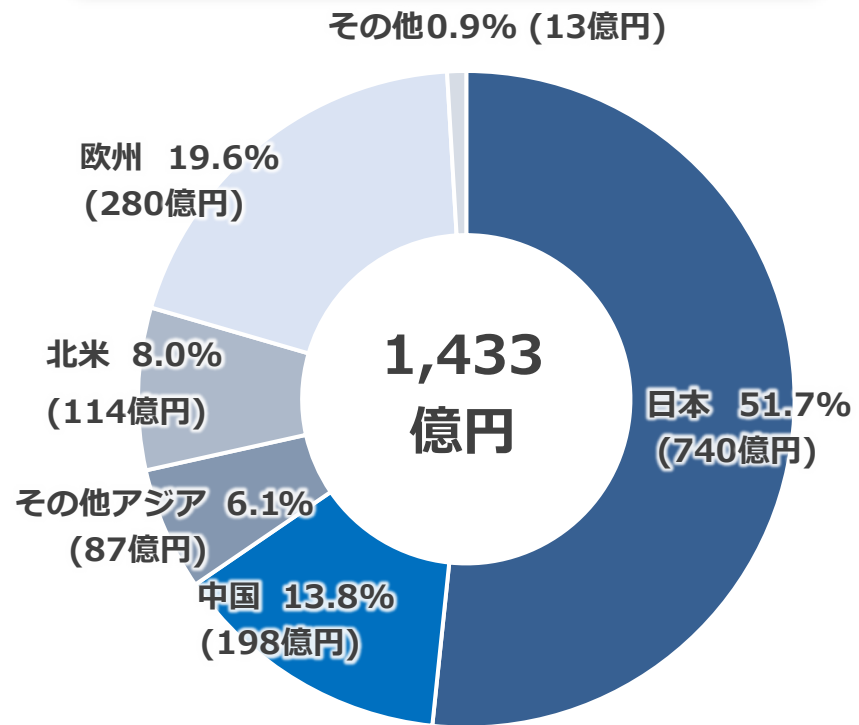
2026/12	2026/12
通期計画 2/12	通期計画 7/31
125	130
127	132
168	165

設備投資額 セグメント別



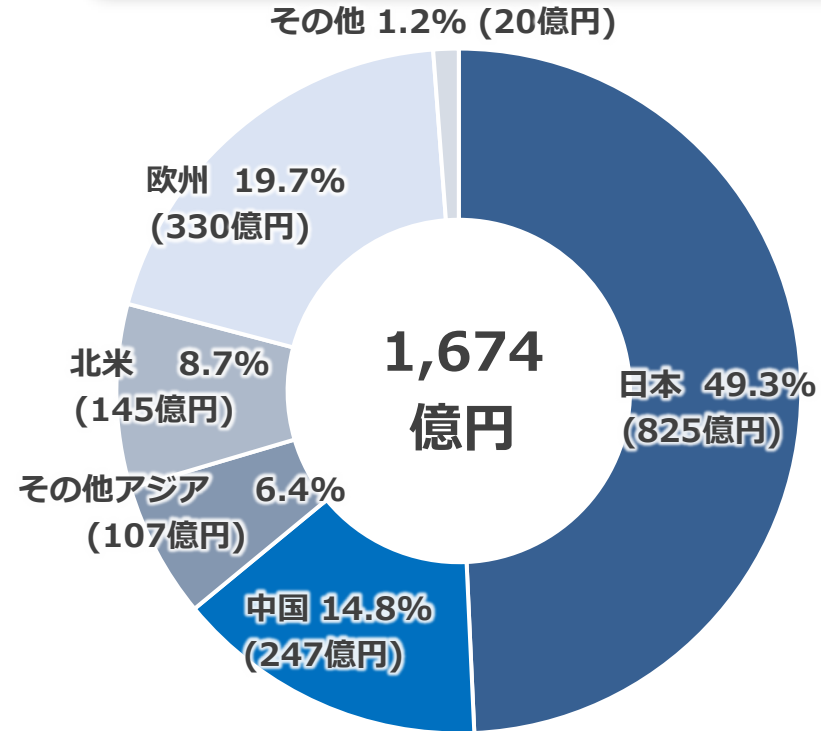
2025年度実績には油圧機器を含んでおりません

2025/12 中間期実績



海外売上高	693億円
海外売上高比率	48.3%

2026/12 中間期実績



海外売上高	849億円
海外売上高比率	50.7%

■ 為替レート

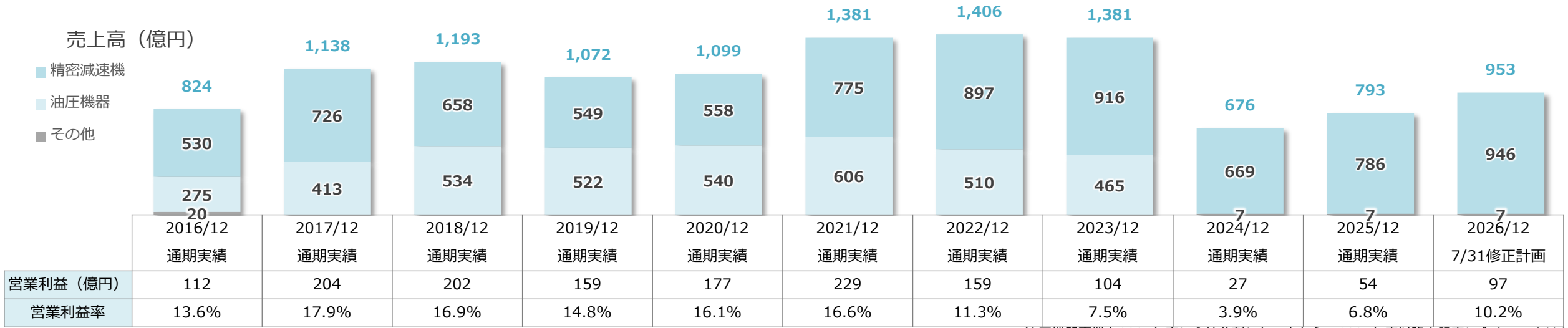
(単位：円)	2025/12 中間期実績	2026/12 中間期実績	2026/12 下期計画	2026/12 通期計画
USD	147.48	158.59	150.00	154.29
RMB	20.47	23.05	21.50	22.27
EUR	162.24	184.83	175.00	179.91
CHF	172.51	201.48	190.00	195.74

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

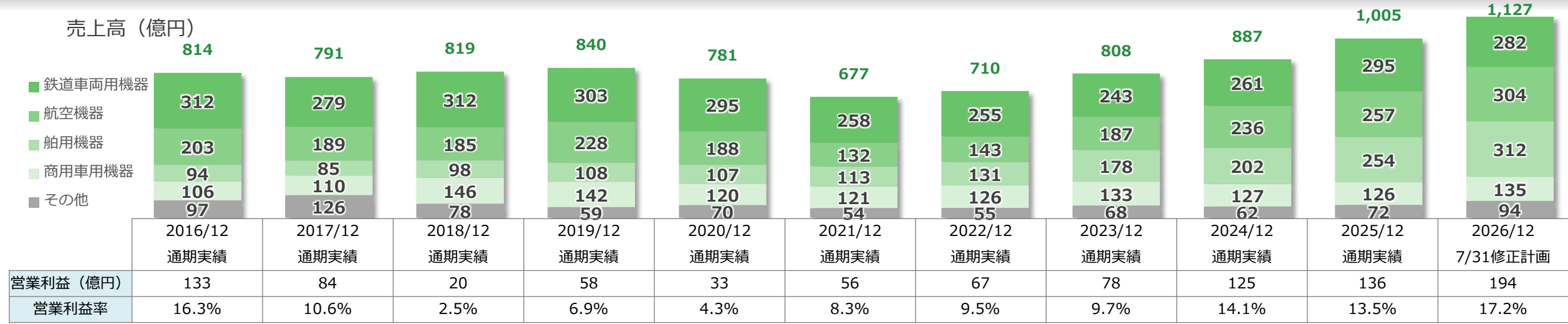
(単位：百万円)	2026/12 中間期実績	
	売上	営業利益
USD	86	30
RMB	802	119
EUR	39	4
CHF	124	6

2026/12 通期計画	
売上	営業利益
218	63
1,568	246
85	9
260	11

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）



トランスポートソリューションセグメント（TRS）

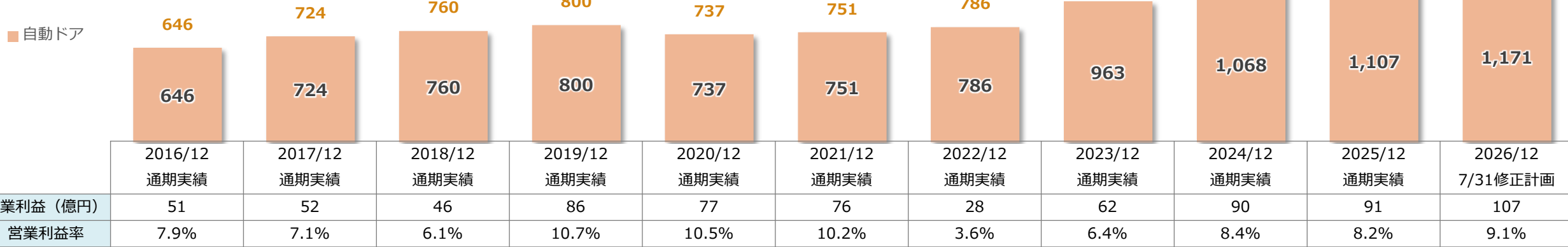


※従来の説明資料と事業の説明順が変更になりました。

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

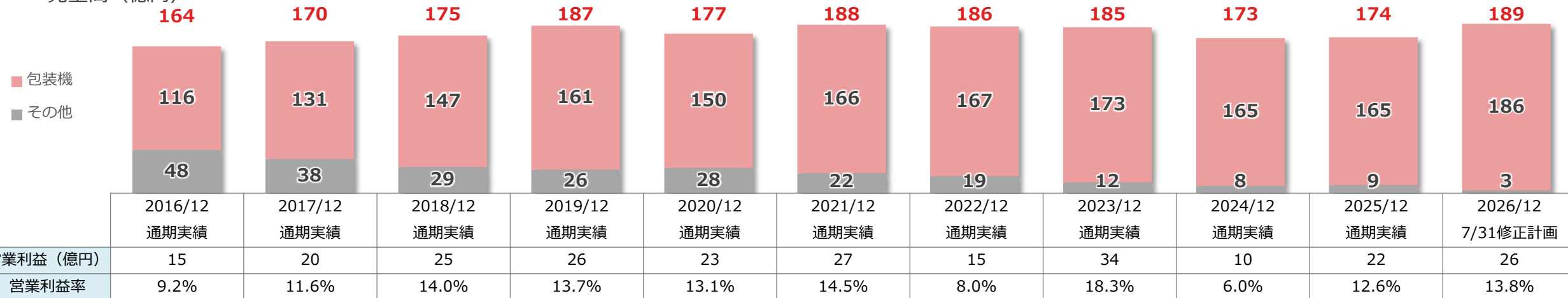
Innovation In Action
Vision 2030

売上高 (億円)



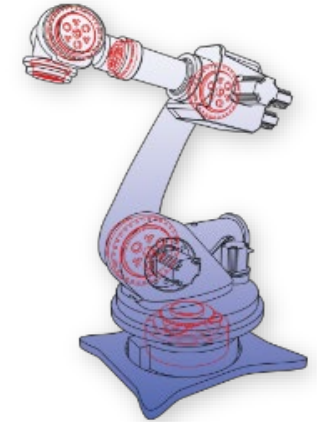
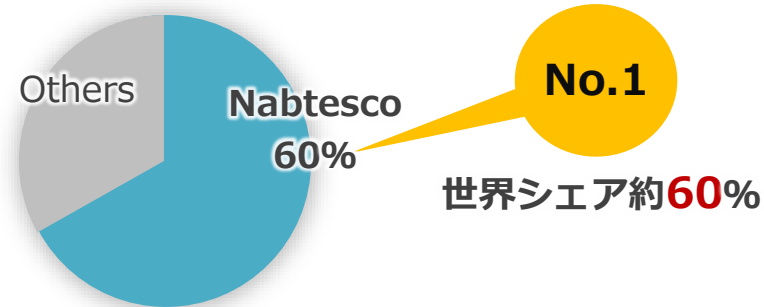
マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

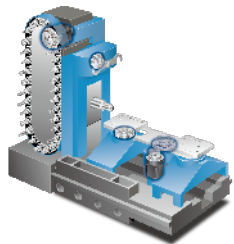


精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途

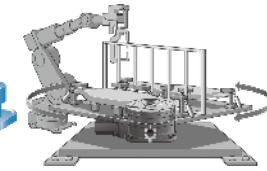


産業用ロボット以外の用途事例

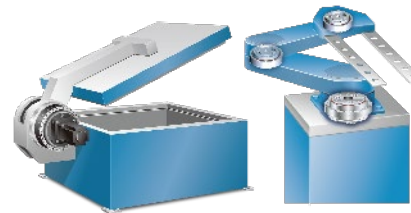


工作機械

ツールチェンジャー / トラニオンテーブル



溶接
ポジショナー



半導体製造装置
チャンバー開閉装置/移載装置



通信用
アンテナ



医療用
X-ray



物流用
AGV/AMR

主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

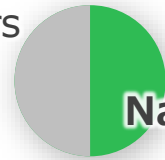
工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



Others



Nabtesco 50%

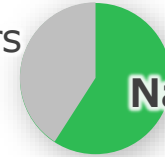
No.1

国内シェア約**50%**

■ 鉄道車両用ドア開閉装置



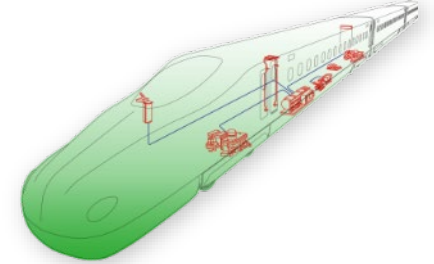
Others



Nabtesco 60%

No.1

国内シェア約**60%**



航空機器

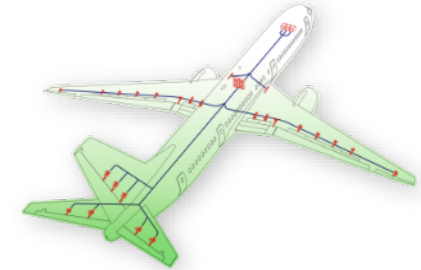
■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



Nabtesco
100%

No.1

FCAの国産機
シェア約**100%**



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け、海外鉄道各社

■ 航空機器

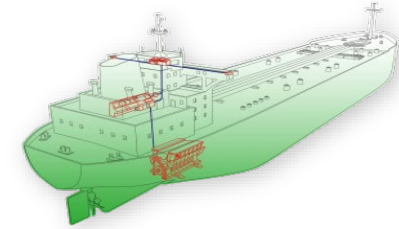
Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



世界シェア約**40%**
(国内シェア約45%)



商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

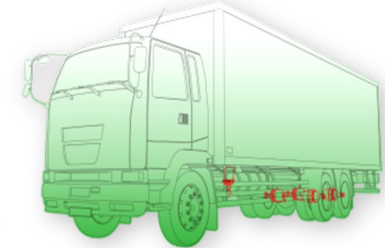


No.1 国内シェア約**80%**

■ 商用車用エアドライヤー



No.1 国内シェア約**60%**



主要顧客 (敬称略)

■ 船用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、Hanwha Engine (韓)

■ 商用車用機器 いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

注：シェアは当社推計

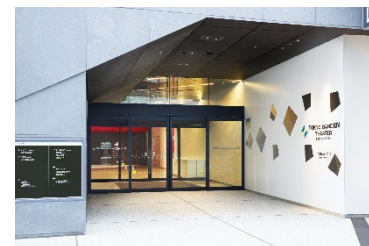
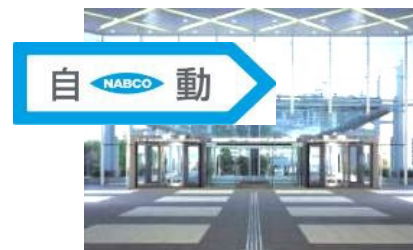
自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



No.1

建物用自動ドア
国内シェア約**60%**
(世界トップクラス)



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

